



令和3年度 第6回地域協議会が開催されました【令和3年12月21日(火)19:00~】 新型コロナウイルス感染防止を行い実施しました

【主な会議内容】以下のことについて話し合いが行われました。

■令和3年度地域コミュニティ活動交付金事業変更承認申請及び意見書(案)について

まちづくり推進委員会から、既に承認されている事業のうち、事業内容に変更が生じた5事業について、変更承認申請が提案され、以下の意見を付して、承認されました。



事業名	事業への意見
1 見守り活動事業 (13年目:事業費 347,000円)	学校や警察、青色防犯パトロール等の関係団体との連携を密にして、更なる地域の安全確保を図っていただきたい。
2 防災充実事業 (10年目:事業費1,036,000円)	災害時の避難所生活を円滑に送るためには、防災機器・用品の整備は非常に重要であるので、地域のニーズや避難者の声を十分把握し、計画的な整備を図っていただきたい。
3 ふれあいサロン事業 (12年目:事業費 90,000円)	引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作っていただき、3世代交流や地域住民同士の親睦を深め、地域の方々の豊富な経験や知識・技能を活用し、高齢者の方々の生きがい作りも図ってほしい。
4 水流川クリーンアップ事業 (11年目:事業費545,000円)	引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識のさらなる向上を図っていただきたい。
5 まちづくり充実事業 (8年目:事業費1,840,000円)	本年2月からフェイスブックによる、部会活動やイベント等の情報発信、広報が開始されたので、まちづくりの更なる充実・飛躍を期待したい。ただ、著作権やプライバシーの侵害等のトラブルが発生しないように、運用方針を十分吟味し、整備していただきたい。

■大塚地域協議会の構成団体が抱える課題について

地域協議会の一番大きな役割は、地域の課題の解決であり、解決には至らなくても対応策を協議し模索することは大変重要なことです。そこで昨年度から、その手始めとして、大塚地域協議会を構成している14団体が抱える課題を挙げてもらい、「共通課題ベスト3」の解決策の模索を今回もオブザーバーや地域事務所も参加するフリートークの形で行いました。

解決策を模索する課題は、「①団体会員の減少・高齢化」「②後継者不足」「③連携」の3つです。

これまでに地域協議会で出された対応策(案)の一部を前回に引き続き、紹介します。

住民の皆さんも良い対応策がありましたら、遠慮なく地域事務所へご一報ください。

課題	課題として挙げた団体
① 団体会員の減少・高齢化	①自治会連合会 ②さんさんクラブ ③消防団大淀分団第3部 ④民生委員・児童委員協議会 ⑤体育会 ⑥福祉協力員協議会 ⑦社会福祉協議会 ⑧青少年育成協議会 ⑨江南小校区子ども会育成連絡協議会 ⑩大塚小校区子ども会育成連絡協議会

民生委員児童委員協議会の対応策(案)

- ◆ 「民生委員・児童委員PR活動強化週間」というのが、毎年5月にある。その時、生協などの地域内の店舗でチラシを配り、民児協の活動内容をPRしていたが、昨年と今年はコロナによりPR活動が出来なかった。そこで、コロナ禍で如何にPRするかを企画部会で協議し、広報紙を作成し、配付することを決めた。
- ◆ 作成した広報紙は、自治会の協力を得て班回覧し、自治会未加入世帯には、みんなでポストインした。
- ◆ 福祉協力員、自治会役員との交流会(茶話会)を持ち、人材の情報交換等を行う。

体育会の対応策(案)

- ◆ 若い世代がいる単位子ども会(子連協)や大塚中PTA(地区部、健全育成部)や祭り大塚振興会等と茶話会みたいな話し合いの場を持ち、どうなれば自治会に入るか、体育会事業に参加するかなど、知恵を出し合い、模索する。
- ◆ スポーツ万能でないと体育会に入れないのではないかと考えている人もいるみたいなので、誰でも入れることを強くアピールし、そんなイメージも払拭していきたい。

社会福祉協議会の対応策(案)

- ◆ 自治会や民児協、福祉協力員協議会など関連する団体と茶話会みたいな話し合いの場を持ち、どうすれば自宅に閉じこもりがちな高齢者に少しでも多く、行事に参加してもらえるかなど、知恵を出し合い、模索する。
- ◆ 子ども会やPTAなどの若い人たちの集まりの中で、社会福祉協議会の活動内容をアピールしていくことも必要と思うので、アピールの場を地域の子ども会やPTAの集まりにも広げ、参加して新しい人材が発掘できればと思う。

令和3年度 第7回地域協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため 書面表決となりました(令和4年2月15日開催予定でした)

【書面協議内容】以下のことについて、書面表決していただきました。

■令和4年度地域コミュニティ活動交付金事業申請及び意見書(案)について
まちづくり推進委員会から、新年度の8事業が提案され、意見を付して、同意されました。



事業名	事業への意見
1 見守り活動事業 (14年目:事業費 55,000円)	廃部となった地域学校連携部会の「あいさつ運動事業」を昨年度継承し、新たにのぼり旗を購入した。地域全域にのぼり旗が掲げられ、あいさつ溢れる大塚となるよう頑張っていたきたい。また、引き続き、学校や警察、青色防犯パトロール等の関係団体との連携を密にして、更なる地域の安全確保を図っていただきたい。
2 生活支援事業 (6年目:事業費 60,000円)	昨年度実施した「みんなの居場所 中区の会」が好評で、所期の目的は達成した。「中区の会」の問題点、改善点を検証し、本年度開催予定地区に活かしていただき、更に一人でも多くの引きこもりがちな住民の方々の居場所を作っていただきたい。
3 水流川クリーンアップ事業 (12年目:事業費 460,000円)	引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。また、「江南小学校の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっているので、モデル事業として大塚地域外にも積極的に広報し、多くの人たちに知っていただきたい。
4 ダンボールコンポスト事業 (11年目:事業費 82,000円)	ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、生ごみの減量化が図られているので、引き続き、環境についての意識が向上するよう推進していただきたい。
5 ペットマナー向上事業 (8年目:事業費 90,000円)	引き続き、ペット飼育者のマナーの向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。
6 大塚音頭普及促進事業 (10年目:事業費 63,000円)	地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただくよう積極的に広報して、指導の機会を増やし、大塚音頭の普及を図ってほしい。また、スポレク部会と大塚音頭保存会の密なる連携を図りながら、事業を展開してほしい。
7 江南小学校地区体育祭共催事業 (12年目:事業費 713,000円)	校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図り、子ども達の「ふるさとづくり」となるようお願いしたい。
8 まちづくり充実事業 (9年目:事業費 1,690,000円)	昨年2月から、フェイスブックによる部会活動やイベント等の情報発信、広報が開始されているので、まちづくりの更なる充実・飛躍を期待したい。ただ、著作権やプライバシーの侵害等のトラブルが発生しないように、運用方針を十分吟味し、整備していただきたい。

発行:宮崎市地域振興部 地域コミュニティ課 大塚地域事務所
TEL:54-2222 住所:宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296-3(大塚中学校となり)
FAX:64-0270 メールアドレス:07otuka-c@city.miyazaki.miyazaki.jp

